

令和元年度栄友会学術講演会のご案内

演題：『散る桜 昭和は遠くなりにはけり』

—徳島、大阪、熊本での栄養学—』

講師：南 久則 先生（栄養学科 11 期）

熊本県立大学環境共生学部食健康科学科教授

日時：令和元年 6 月 15 日（土）16:30 ～ 18:00（予定）

※なお、当日は 15 時 30 分から栄友会総会を行っております。

進行により終了次第の開催となりますことをご了承ください。

場所：徳島大学医学部 基礎第一講義室（基礎 A 棟と B 棟の間 1 階）

栄友会（徳島大学医学部栄養学科・医科栄養学科同窓会）では、本年も栄友会総会に引き続き講演会を企画しました。

南久則先生は、昭和 53 年に徳島大学医学部栄養学科を卒業され（11 期）、昭和 55 年に同大学院栄養学研究科修士課程を修了されました。その後、徳島大学医学部栄養学科（病態栄養学講座）に助手として着任された後、講師に昇任されました。その間、米国ピッツバーグ大学医学部臨床栄養部門でペプチド栄養の研究に従事されました。その後、大阪府立看護大学医療技術短期大学部での助教授を経て、平成 12 年に熊本県立大学に助教授として着任、平成 17 年には同大学の現職である教授に就任されました。現在は同大学（管理栄養士を養成する学科）での教育とともに、食物アレルギーの腸管通過機構や腸管免疫と腸内細菌などの研究に従事されており高く評価されています。他にも、慢性閉塞性肺疾患、クローン病、がん、嚥下困難者、認知症などの方々を対象とし栄養・食事と QOL（生活の質）など臨床栄養アセスメントに関する研究にも取り組まれております。また、熊本県栄養士会会長として、特定保健指導や地域包括ケアシステムに対応した管理栄養士・栄養士の教育プログラム作りにもご尽力されております。

今回は、これまでの様々な経験を踏まえ、後輩である学部・大学院生への思いをお話いただくことになりました。参加いただく教員、学生の皆様には、今後の進路を考える際の参考にしていただければと思います。多数のご来聴をお待ちしております。

*本講演は、大学院栄養生命科学教育部の大学院特別講義を兼ねています。

問い合わせ先：栄友会事務局 担当総務幹事
医学部医科栄養学科 臨床食管理学分野 増田 真志